

市民のひろば

市民の皆様からいただいたお便りの中から、ご意見や情報などを紹介します。



お

正月に市外に住んでいる娘が帰省し、家の中が明るくなり場所よりも寒かったらしく見事に風邪を引いてしまいました。風邪で寝込む娘には悪いのですが、看病している間は、娘の世話を焼けるのがうれしくてたまらなかつたです。いくつになっても娘は娘なんだなと思いました。(まんちゃんさん・女性)

まんちゃんさんがうれしそうに娘さんを看病している風景が目につかびます。家族での食事や会話など、子どもが家にいる時は当たり前でも、進学や就職等で家を離れて分かる、親のありがたみや子どもの可愛さ。お便りを拝見して、「親孝行をしているかな」、「子どもとコミュニケーションは取れているかな」と自問自答するとともに、何気なく過ごしている時間をもっと大事にしようと思いました。まずは、お互いが元気であること、そして離れて過ごし

ていても、電話や手紙、メールなどで連絡を取り合うことが大事なのではないかと思いました。春は出会いと別れの季節です。今回、改めて考えるきっかけをいただき、ありがとうございました。

農

福のことは初めて知りましただ。一般就労に不安がある人とそれを見守ってくれる事業所が共に取り組む姿はとても心強く感じました。受け入れ口があることで利用する側も不安なく社会と接していくこと(自立)ができて事業所に勤める方々にも理解が深まっていき共存が成り立つことは望ましいことです。(Y・Iさん・女性)

2月号(No.338)では「農福連携で笑顔広がる」と題して市内の取り組みを紹介しました。人口減少や少子高齢化が進む中で、「農業」と「福祉」の連携が広がることは、障がい者の働き先の確保につながることも、農業の担い手不足の問題を解消できると期待されています。作業環境の見直しなどのハードルもありますが、互いに知恵を出し合い、働きやすい環境を作っていくことは、作業効率の向上にもつながると思います。多様な人材が活躍できる社会の実現のためにも、この「農福連携」の取り組みを知ってほしいです。

鹿

鹿屋に引っ越してきて1年半が経ちます。「よくこんな田舎に来たね不便でしょ」と言われますが全くそのように思いません!2人の子育て中ということもあり、家の周りに公園も多く子育て支援センターも充実しており、のびのび生活ができています。生活をする上で買い物をするお店も多く便利すぎる町です。若者でも住みやすいですよともっとアピールしたいです。(E・Sさん・女性)

鹿屋での暮らしはいかがでしょうか。E・Sさんの感じた鹿屋の魅力は口コミやSNSなどで発信していただけるととてもうれしいです。市では、令和2年度に県民健康プラザ健康増進センター内に、乳幼児から小学3年生までの児童とその家族の方が、土日・祝日や雨の日でも利用できる新たな子育て支援施設を開設し、より多くの子育て世帯の方々の交流を促進していこうと考えていますので楽しみにしてください。市総合アプリ「かのやライフ」では、「休日救急当番医」や「子育て情報」のほか、ごみカレンダーや市のイベント情報なども確認することができますよ。

鹿屋市総合アプリ「かのやライフ」の機能を4ページで詳しく紹介!

今

年は48年ぶりに、かごしま国体が開催されますね。ボート、バレーボール、自転車競技などが行われるみたいで、すでにワクワク状態です。スポーツ開催を機として、鹿屋の街が発展しますように願っています。(さすらいの宗やんさん・男性)

2020年は「東京オリンピック・パラリンピック」の熱気冷めやらぬ中、「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」が開催されます。5月31日に串良平和アリーナで、デモンストラーションスポーツとしてスポーツウエルネス吹矢が開催されるのを皮切りに、8月26〜27日には市内で炬火リレーが行われるなど10月の本番に向け(ボート競技は9月開催)、待たなしの状態です。全国から鹿屋を訪れる方全員に、鹿屋のファンになっていただくために、みんなで盛り上げていきましょう!

かのやばら園・霧島ヶ丘公園

いま旬!



ラナンキュラス

ばら園では、陽の光を浴びると花びらが見る角度によりキラキラと光輝くラナンキュラスが4月まで見頃です。色彩豊かな注目の品種をお楽しみください。